

付録

付録

- 資料1 自治体アンケート調査票（市町村の公共交通政策に関するアンケート調査）
- 資料2 自治体アンケート調査結果（本編掲載分以外）
- 資料3 自治体アンケート調査票（市町村の運行する公共交通に関するアンケート調査）
- 資料4 住民アンケート調査票
- 資料5 住民アンケート調査結果（本編掲載分以外）

資料1 自治体アンケート調査票(市町村の公共交通政策に関するアンケート調査)

問3 貴市町村がこれまでに実施している公共交通政策をすべてお答えください。(複数回答可)

ハード整備	☐ 1. バス走行環境整備
	☐ 2. バス停整備
	☐ 3. 鉄道・バスの交通結節点整備
運行確保	☐ 4. 民間バス路線への支援補助の実施
	☐ 5. コミュニティバス・自治体運営バスの運行
	☐ 6. デマンド交通の運行
	☐ 7. 移動課題に取り組み地域組織への補助金の交付
利用者支援	☐ 8. タクシー利用補助制度
	☐ 9. 定額券購入補助制度
	☐ 10. 利用促進策（モビリティ・マネジメント）
	☐ 11. 運転手確保支援
	☐ 12. 路線図の作成
	☐ 13. 送迎バスの一環要素（いわゆる「輸送資源の膨張員」）
	☐ 14. その他（ ）

問4 貴市町村の民間バス事業者との関係についてお尋ねします。下記事項を実施しているかどうかそれぞれお答えください。域内に複数の運行事業者がある場合は、走行キロのシェアが最も高い事業者1社との関係についてお答えください。

(1) 民間バス路線のサービス水準（路線網、本数）の現状および過年度からの増減を把握している。	☐ 1. はい・ ☐ 2. いいえ
(2) 補助を出していない独立採算路線の路線の廃止や減便について、民間バス会社からの情報提供や申請を実際に受け付けた。	☐ 1. はい・ ☐ 2. いいえ
(3) 補助を出していない独立採算路線の路線網や本数について、民間バス会社と協定を結んでいる。	☐ 1. はい・ ☐ 2. いいえ
(4) 民間バス事業者と繰り返し意見交換・情報交換を行っている。	☐ 1. はい・ ☐ 2. いいえ
(5) 民間バス事業者の系統別輸送実績報告書を事業者または国から入手している。	☐ 1. はい・ ☐ 2. いいえ
(6) 民間バス事業者のバスロケーションシステム運行実績データまたはICカード利用実績データを入力している。	☐ 1. はい・ ☐ 2. いいえ

市町村の公共交通政策に関するアンケート調査

問1 ご記入者の状況についてお答えください。

市町村名	
担当部署名	
記入者（担当者）氏名	
電話番号	
メールアドレス	

まず、貴市町村の公共交通政策の取組の概況をお伺いします。

問2 貴市町村が交通政策として重視する政策目的を教えてください。

あてはまるものすべてを選択したうえで、重要度が上位3つのものについては順位をご回答ください。（あてはまるものが2つ以下の場合には上位1、2番の順位をご回答ください）

なお、貴市町村のこの質問の回答は、類似の政策課題に取り組んでいる市町村を参考にしてください。ため、調査研究報告書に掲載する予定です。

重視する政策目的	重要度の順位	政策目的
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(1) 交通弱者の生活の足の確保
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(2) 市外への通勤の足の確保・改善
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(3) 市内への通勤の足の確保・改善
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(4) 観光客の足の確保
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(5) 中心市街地活性化
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(6) 交通渋滞の緩和
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(7) 温室効果ガスの削減
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(8) 交通事故の防止
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(9) 住民要望への対応
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(10) 交通空白地の解消
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(11) 公共交通に対する財政支出の効率化
☐	☐ 1位・ ☐ 2位・ ☐ 3位	(12) その他（ ）

問5 貴市町村の交通計画の策定状況または策定意向と、その理由を教えてください。

計画体系	策定状況または策定意向	理由（策定のきっかけ、策定の目的、策定しない理由等）
(1) 都市・地域総合交通戦略	☐ 1. 策定済み ☐ 2. 策定予定あり ☐ 3. 策定予定なし	
(2) 地域公共交通計画（地域公共交通網形成計画、地域公共交通総合連携計画を含む）	☐ 1. 策定済み ☐ 2. 策定予定あり ☐ 3. 策定予定なし	
(3) 上記2つの国の示す計画体系に当てはまらない独自の交通計画	☐ 1. 策定済み ☐ 2. 策定予定あり ☐ 3. 策定予定なし	

※計画名称をお答えください。
()

問6 貴市町村は、地域公共交通に関する会館体を設置していますか。

- ☐ 1. 道路運送法「地域公共交通会議」のみ設置している
- ☐ 2. 地域公共交通活性化再生法「法定協議会」のみ設置している
- ☐ 3. 道路運送法「地域公共交通会議」と地域公共交通活性化再生法「法定協議会」を兼ねた会議を設置している
- ☐ 4. 道路運送法・地域公共交通活性化再生法のいずれにも基づかないが、公共交通に関し検討する会館体を設置している
- ☐ 5. 会館体は設置していない

問7 道路運送法「地域公共交通会議」の合意形成についてお伺いします。自治体として新たな交通サービスを導入しようとした際に、既存事業者から反対を受けたことはありませんか。また、その際どのように対応されましたか。（複数回答可）

※会議に上乗する前の説明・企画段階で反対を受けた場合も含めて回答してください。

- ☐ 1. 道路運送法「地域公共交通会議」を設置していない。
- ☐ 2. 既存事業者から反対を受けたことはない。
- ☐ 3. 既存事業者（バス事業者）から反対を受け、新たな交通サービスの導入を取りやめた。
- ☐ 4. 既存事業者（バス事業者）から反対を受け、新たな交通サービスの導入内容を変更した。
- ☐ 5. 既存事業者（バス事業者）から反対を受けたが、原案の通り新たな交通サービスを導入した。
- ☐ 6. 既存事業者（タクシー事業者）から反対を受け、新たな交通サービスの導入を取りやめた。
- ☐ 7. 既存事業者（タクシー事業者）から反対を受け、新たな交通サービスの導入内容を変更した。
- ☐ 8. 既存事業者（タクシー事業者）から反対を受けたが、原案の通り新たな交通サービスを導入した。

問8 問7で3-8を選択した方に伺います）国土交通省の通達（令和6年度国土交通省「地域公共交通

路線に関する関係者との連携等に関する要綱について」は、「地域公共交通会議」の合意形成について、路線定期運行を中心に整合性のとれた地域交通ネットワークが構築されるよう留意することを求めています。自治体として新たに導入しようとしたが既存事業者からの反対を受けた交通サービスについて、会議に諮る前の段階で、自治体として、路線定期運行を中心に整合性のとれた地域交通ネットワークが構築されることは確認できていましたでしょうか。

- ☐ 1. 自治体としては、路線定期運行を中心に整合性のとれた地域交通ネットワークが構築されると判断していた。
- ☐ 2. 自治体としては、路線定期運行を中心に整合性のとれた地域交通ネットワークが構築されるとは判断できていなかった。

問9 令和5年度の貴市町村の公共交通等の住民・来訪者の移動手段に関する予算をお教えてください。

費目	予算（千円）
コミュニティバス、集合タクシー、デマンド交通、など自治体が関与する非営利の集合自動車交通のうち、運賃を収受するものの運営費（乗運賃収入を控除した金額）	千円
福祉・教育・医療等、特定目的の利用者の輸送を実施している場合の経費（乗賃・乗賃補助）	千円
上記に該当しない無料バスの運行費	千円
民間路線バスへの運行補助	千円
公営バス会計への一般会計予算からの持ち出し（公営バス事業を運営している場合）	千円
乗客者、通学者、免許返納者等、特定のバス利用者の運賃負担軽減に用いている経費	千円
タクシー利用者の交付票、タクシー利用者への運賃負担軽減に用いている経費	千円

問 10 令和5年度において、貴市区町村が公共交通政策に活用した国と都の財政措置をご回答ください。(複数回答可)

- ただし、ここでは下記の費用において活用しているものについてお答えください。
- ・コミュニティバスや乗合タクシー、デマンド交通など、自治体が関与する非営利の乗合自動車交通のうち、運賃を収受するものの運営費
 - ・福祉・教育・医療等、特定目的の利用者の輸送には該当しない無料バスの運行費
 - ・民間路線バスへの運行補助

☐ 1. 地域間幹線系統国庫補助・東京都バス運行対策費補助金

☐ 2. 地域内フィーターネットワーク補助

☐ 3. 社会資本整備総合交付金基幹事業

☐ 4. 地方バスに関する特別交付税措置

☐ 5. 地方創生特別交付金

☐ 6. 東京都持続可能な地域公共交通実現に向けた事業費補助金 ①地域公共交通計画策定費

☐ 7. 東京都持続可能な地域公共交通実現に向けた事業費補助金 ②調査検討費

☐ 8. 東京都持続可能な地域公共交通実現に向けた事業費補助金 ③新規導入に係る事業

☐ 9. 東京都持続可能な地域公共交通実現に向けた事業費補助金 ④再編に係る事業

☐ 10. 東京都持続可能な地域公共交通実現に向けた事業費補助金 ⑤車両更新事業

☐ 11. 東京都持続可能な地域公共交通実現に向けた事業費補助金 ⑥GTFIS-IT整備事業

☐ 12. その他補助金

☐ 13. 通称ソフト

☐ 14. 通称ハード

☐ 15. 辺地・半島等の立地条件による地方財政措置

☐ 16. その他 ()

☐ 17. 無い

問 11 地域公共交通に関する国と都の財政措置の活用状況・活用意向を教えてください。

(1)地方バスに関する特別交付税措置

特別交付税に関する法令第五節第二項イ

事項	算定方法
二 地方バス路線の運行維持に要する経費があること。	次の各号によって算定した額の合算額とする。 一 国の行う地域公共交通確保改善事業と連携を図り当該市町村が当該年度に行う維持に要する経費のうち特別交付税の算定の基礎とすべきものとして総務大臣が調査した額に〇・八を乗じて得た額 二 当該市町村が当該年度に行う地方バス路線の運行維持に要する経費（前号に定める経費を除く。）のうち特別交付税の算定の基礎とすべきものとして総務大臣が調査した額に〇・八を乗じて得た額

※第二号については、財政力指数が〇・八以上の市町村にあつては〇・五を、〇・五以上〇・八未満の市町村にあつては六分の十一から当該市町村の財政力指数に三分の五を乗じて得た数を控除して得た数（小数点以下二位未満は、四捨五入する。）を、〇・五未満の市町村にあつては一・〇をそれぞれ乗じて得た額とする。

- ☐ 1. 国に申請を行っており、かつ、収支バランスを考慮して政策の立案をする際に、特別交付税の措置を算入している。
- ☐ 2. 国に申請を行っているが、収支バランスを考慮して政策の立案をする際に、特別交付税の措置を算入していない。（単に申請して受け取っているだけで、政策立案時に考慮していない）
- ☐ 3. 知っているが、対象となる支出が無い。
- ☐ 4. 知っていて、対象となる支出はあるが、国に申請を行っていない。
- ☐ 5. 知らない。

(2)地域間幹線系統国庫補助・東京都バス運行対策費補助金

- ☐ 1. 域内に補助受給路線が存在しているが、運賃不足補助は行っていない。
- ☐ 2. 域内に補助受給路線が存在しており、かつ、運賃不足補助を行っている。
- ☐ 3. 知っているが、補助対象地域（西多摩・八王子市西部）ではない。
- ☐ 4. 知っていて、補助対象地域（西多摩・八王子市西部）だが、域内に補助受給路線が存在していない。
- ☐ 5. 知らない。

(3)地域内リーダー系統確保維持費国庫補助金

- 1. 補助を受給している。
- 2. 知っているが、補助対象となるサービスが無い。
- 3. 知っていて、補助対象となるサービスがあるが、補助を申請していない。
→理由 ()
- 4. 知らなかった。

(4)東京都持続可能な地域公共交通実現に向けた事業費補助金

- 1. 補助を受給している。
- 2. 知っているが、補助対象となるサービス・事業が無い。
- 3. 知っていて、補助対象となるサービス・事業があるが、補助を申請していない。
→理由 ()
- 4. 知らなかった。

問 12 貴市町村が、運行補助金の支出や運行委託などの形で運行経費を一部でも負担しているバス路線をすべてお教えください。また、それらの路線が、民間バス事業者等補助と市町村負担（運行委託を含む）のどちらに該当するかお教えください。

民間バス路線への運行補助金の支出や、自営体運行バス（コミュニティバス、デマンド交通等）の運行委託、自治体運行バスの直営運行などの形で、運行経費を一部でも負担しているバス路線をすべて教えてください。

当方でも特定できるよう、系統番号や運行路線名をご教ください。一部区間についてのみ負担を行っている場合は、その区間をご記載ください。

事業名称	系統番号や運行路線名	一部区間についてのみ負担を行っている場合、その区間	民間バス事業者等補助と市町村負担のどちらに該当するか	基記路線
1			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
2			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
3			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
4			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
5			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
6			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
7			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
8			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
9			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
10			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
11			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
12			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
13			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
14			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
15			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
16			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
17			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
18			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
19			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐
20			民間バス事業者等補助 ☐ 市町村負担 ☐	☐

記入欄が不足する場合は別紙でご提出ください。

貴市町村の交通課題についてお伺いします。

問13 2019年比で、現在の貴市町村内の民間路線バスの本数はどうなっていますか。
 概数事業者ある場合は合計した本数でお答えください。

- ☐ 1. 増えた
- ☐ 2. 変わらない
- ☐ 3. 減った
- ☐ 4. 把握していない
- ☐ 5. 民間路線バスが存在しない（一問18へ進んでください）

問14 2020年以降、民間バス路線の廃止（当該道路を走るすべての系統の路線バスがなくなり、バス停が廃止になること）はありましたか。

- ☐ 1. ある
- ☐ 2. ない
- ☐ 3. 把握していない

問15（問14で「ある」と回答した方のみ回答）路線の廃止は、貴市町村にはどのように知らされましたか。

- ☐ 1. バス事業者から、地域公共交通会議または地域公共交通活性化再生法定協議会に廃止意向の申し出があった。
- ☐ 2. 関東運輸局から路線の廃止に関する届け出について情報提供があった。
- ☐ 3. バス事業者から廃止6か月前までに任意の申し出があった。
- ☐ 4. バス事業者から廃止6か月前以降、廃止までに任意の申し出があった。
- ☐ 5. バス事業者から廃止後に任意の申し出があった。
- ☐ 6. バス事業者からも関東運輸局からも申し出・情報提供はなかった。

問16 2020年以降、民間バス路線について、当該バス停に停車するバスの本数が1日平均1往復以下（週7往復以下）になるような、極端な便数の減少はありましたか。

- ☐ 1. ある
- ☐ 2. ない
- ☐ 3. 把握していない

問17（問16で「ある」と回答した方のみ回答）この極端な便数の減少は、貴市町村にはどのように知らされましたか。

- ☐ 1. バス事業者から、地域公共交通会議または地域公共交通活性化再生法定協議会に情報提供があった。
- ☐ 2. バス事業者から減便6か月前までに任意の申し出があった。
- ☐ 3. バス事業者から減便6か月前以降、減便までに任意の申し出があった。
- ☐ 4. バス事業者から減便後に任意の申し出があった。
- ☐ 5. バス事業者から情報提供はなかった。

貴市町村の公共交通分野の取組の方法や方向性についてお伺いします。

問 18 貴市町村では、住民の移動実態についてどの程度把握されていますでしょうか。移動目的別に、あてはまるもの一つを選択してください。

(1)高校生の通学

- ☐ 1. 交通実態調査などを実施して、一定程度定量的に把握している。
- ☐ 2. 国勢調査などの既存統計や、ビッグデータなどのデータでわかる範囲で承知している。
- ☐ 3. 特に定量的なデータはないが、ある程度現状の傾向は承知している。
- ☐ 4. 把握していない。
- ☐ 5. その他 ()

(2)通勤

- ☐ 1. 交通実態調査などを実施して、一定程度定量的に把握している。
- ☐ 2. 国勢調査などの既存統計や、ビッグデータなどのデータでわかる範囲で承知している。
- ☐ 3. 特に定量的なデータはないが、ある程度現状の傾向は承知している。
- ☐ 4. 把握していない。
- ☐ 5. その他 ()

(3)日常の買い物

- ☐ 1. 交通実態調査などを実施して、一定程度定量的に把握している。
- ☐ 2. 国勢調査などの既存統計や、ビッグデータなどのデータでわかる範囲で承知している。
- ☐ 3. 特に定量的なデータはないが、ある程度現状の傾向は承知している。
- ☐ 4. 把握していない。
- ☐ 5. その他 ()

(4)通院

- ☐ 1. 交通実態調査などを実施して、一定程度定量的に把握している。
- ☐ 2. 国勢調査などの既存統計や、ビッグデータなどのデータでわかる範囲で承知している。
- ☐ 3. 特に定量的なデータはないが、ある程度現状の傾向は承知している。
- ☐ 4. 把握していない。
- ☐ 5. その他 ()

問 19 貴市町村では、自家用車を使えない住民の生活の足の問題（「交通弱者」問題）について、どのような方針で対応することとしていますか。もっともあてはまるもの一つを選択してください。

- ☐ 1. 現状では対応を検討していない。
- ☐ 2. 過去の一時点または現時点で走っている鉄道・バス路線の維持。
- ☐ 3. 交通弱者に対して、最低限度の生活行動の機会を提供する。
- ☐ 4. 交通弱者に対して、マイカー利用者並みの生活行動の機会を提供する。
- ☐ 5. 住民の要望が多い地域に対して、一定の生活行動の機会を提供する。
- ☐ 6. 住民が自主的に地域の足の問題を解決しようとする取組に対して支援する。
- ☐ 7. その他 ()

問 20 貴市町村では、不採算ゆえに民間独立採算では供給されないものの、交通弱者の生活の足確保のために行政が確保する必要があるタイプの公共交通サービスをどのように特定していますか。もっともあてはまるもの一つを選択してください。

- ☐ 1. 住民の移動状況を踏まえて、個別具体的に生活に必要なサービスを特定している。
- ☐ 2. 住民の移動状況を踏まえて、定量的に生活に必要なサービスを特定している。（収支率・利用者数を除く）
- ☐ 3. 収支率・利用者数を踏まえて、一定の利用があるサービス維持対象として特定している。
- ☐ 4. 民営バス路線廃止時のサービス（路線・時刻表）を維持対象としている。（民営バス路線廃止時のサービスの現状維持で対応している）
- ☐ 5. 特定していない。

問 21 最後に、地域公共交通の維持・確保にあたって苦慮されていることや工夫されていること、国や都に対する制度改正のご意見、本調査へのご要望等がありましたら自由にご回答ください。

ご多用のところ、ご回答いただき大変ありがとうございました。

資料3 自治体アンケート調査票(市町村の運行する公共交通に関するアンケート調査)

市町村の運行する公共交通に関する
アンケート調査

問 1 ご記入者の状況についてお答えください。

市町村名

問 2 サービスの概要について教えてください。

サービス名			
運行区間			
運行回数 (上下本数を合計)	(平日) 回/日	(土曜) 回/日	(休日) 回/日
※運行日が毎日でない場合は、運行する曜日等を教えてください。			
大人普通運賃			
導入年月日			
令和5年度の1年間の 利用者数（無償の利用者 数を含む）			
令和5年度の1年間の 輸送人キロ（わかる場合）			
令和5年度の1年間の 運賃収入			

問 3 導入時の事情について教えてください。

導入目的	
導入経緯	
導入時に活用した 国や都の補助制度	
この路線は道路運送法第 9条第4項に基づいて運 賃を決定する「協議路線」 ですか。	☐ はい ☐ いいえ

問 4 存廃や運行見直しの基準はありますか。どのような内容が教えてください。

問5 運行体制・経費について伺います。

令和5年度の1年間の
実車走行キロ
(把握されていない場合は、ご面談ですが運行本
数×キロ程×運行日数で
算出をお願いします)

運行事業者	☐ 1. 一般競争入札 ☐ 2. 指名競争入札 ☐ 3. 総合評価プロポーザル方式 ☐ 4. 随意契約 ☐ 5. その他 ()
運行事業者の決め方	
運行委託が補助金か	☐ 1. 運行委託契約 ☐ 2. 補助金支出
随意契約以外の運行事業者の決め方の場合、何社が入札（提案）をしましたか。	
契約期間（年数）	
令和5年度の1年間の運行経費 (行政負担額ではなく、行政負担額+運賃収入に相当する額です)	
事業者への委託費または補助金の支払い方を教えてください。 (次のうちどれに最も当てはまるからお答えください)	☐ 1. 事前に決めた運行経費から、実際の運賃収入を差し引いた額を支払い、運賃収入は事業者に帰属 ☐ 2. 事前に決めた運行経費を支払い、運賃収入は自治体が残る ☐ 3. 事後的に判明した運行経費から、実際の運賃収入を差し引いた額を支払い、運賃収入は事業者に帰属 ☐ 4. 事後的に判明した運行経費から、実際の運賃収入を差し引いた額の一定割合を支払い、運賃収入は事業者に帰属 ☐ 5. 事後的に判明した運行経費を支払い、運賃収入は自治体が残る ☐ 6. 事前に予想した運行経費と運賃収入の差を定額で支払い（補助金同定）、運賃収入は事業者に帰属 ☐ 7. その他 ()
前回の運行経費または補助額は、次のうちの計算方法で設定していますか。	☐ 1. 入札（プロポーザル）の時に事業者が提示した価格 ☐ 2. 事業者との価格交渉 ☐ 3. 事業者側で要した実際のコストを追認 ☐ 4. 事業者の運送原価×実車走行キロ ☐ 5. その他 ()
1日に使用するバスの台数	
主に使用するバスの定員	

Q2 クルマ以外の交通手段では外出が不便な地域に住む住民であっても保障されるべき最低限の暮らしのための活動はなんだろうと思いますか。そう思うものすべて（複数可）をお述べてください。

その他（必須入力）

主編：株式会社マクロミル

アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

Q1 100%

クルマを自ら利用して移動することが困難な万（児童・生徒・免許返納した高齢者・高齢がいわゆる）の移動手段・交通サービスを提供・確保し、生活の質を確保するために、行政府はどのように対応するべきとお考えですか。

そう思うものすべて（複数可）をお選びください。

なお、ここではあなたの考える「あるべき姿」をお伺いする趣旨のため、公的負担や公費サービスの実現性に關しては助言が生じていないと仮定してお答えください。

クルマが使えない人は公共交通が便利な場所に移り住むべき

その他（必須入力）

Q3

高齢者ドライバーの交通事故が問題となっています。
高齢者が運転に不安や困難を感じたときに、それまでの生活の質を大幅に落とすこと
なくクルマの運転をやめることができるよう、それに足る比較的高い利便性の公共交
通サービスを公的負担により提供するべきだと思えますか。
最も当てはまるものを1つお選びください。

第一段階

必須回答

そう思う

ややそう思う

あまりそう思わない

そう思わない

とじる

Q4

あなたは直近1年以内に、自宅から外出する際にバスを利用したことがありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

第一段階

必須回答

バスを利用したことがある

バスを利用したことはない

とじる

Q5

あなたが現在、自宅からバス停に行くまでの所要時間はどのくらいですか。
あてはまるものを1つ選んでください。
※普段利用するバス停が複数ある場合は、最も利用頻度の高いバス停についてお答え
ください。

第一段階

必須回答

3分未満

3～5分未満

5～10分未満

10分以上

とじる

Q6

あなたが現在、自宅から外出する際にバスを利用する目的は何ですか。
最も利用頻度が高い目的を1つ選んでください。

第一段階

必須回答

通勤

通学

病院への通院

買物

その他 (必須入力)

とじる

Q7

あなたが【Q6の選択内容】の目的でバスを利用する頻度は、以下のうちどれくらいですか。
あてはまるものを1つ選んでください。

第一選択肢

必須回答

週5日以上

週2～4日程度

週1日程度

1か月に1回程度

数か月に1回程度

1年に1回以下

とじる

Q8

あなたが【Q6の選択内容】の目的でバスを利用する際の、バスの平均的な乗車時間はどれくらいですか。
あてはまるものを1つ選んでください。

第一選択肢

必須回答

5分以内

6～10分

11～20分

21～30分

31～60分

61分以上

とじる

Q9

あなたが現在バス運賃として払っている額は1か月あたりどれくらいですか。
あてはまるものを1つ選んでください。
※東京都シルバーパスのみを利用し、バスを乗り降りする際にその場で運賃を支払っていない人は「東京都シルバーパスを利用しており、運賃は払っていない」を選んでください。それ以外の方は、バスを乗り降りする際に支払っている運賃の合計額をお答えください。

第一選択肢

必須回答

1,000円以下

1,001～2,000円

2,001～3,000円

3,001～4,000円

4,001～5,000円

5,001～10,000円

10,001円以上

東京都シルバーパスを利用しており、運賃は支払っていない
わからない

とじる

Q10

現在バスを利用する際に支払っている運賃（東京都シルバーパスの発行費用を含む）は、どなたが負担していますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

第一選択肢

必須回答

自身で負担している

家族や会社が負担している

その他（必須入力）

とじる

Q11

あなたと同居している家族について、直近1年以内に自宅から外出する際にバスを利用したことがありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

第一選択肢

必須回答

とじる

バスを利用したことがある
バスを利用したことはない／わからない
同居している家族はいない

Q12

同居している家族のうちバスを利用するご家族の属性について、あてはまるものすべて選んでください。

複数回答

必須回答

とじる

未就学児
小・中学生
高校生・高専生
大学生・大学院生・専門学校生
その他の学生（必須入力）
65歳未満で学生ではない方（社会人）
高齢者（65歳以上）

Q13

あなたの家族が現在、自宅から外出する際にバスを利用する目的は何ですか。
最も利用頻度が高い目的を1つ選んでください。
前問で利用家族を複数選んだ場合は、バスの利用頻度が最も高い人についてお答えください。

第一選択

必須回答

とじる

通勤
通学
病院への通院
買物
その他（必須入力）
わからない

Q14

バスの利用頻度が最も高いご家族が【（Q13の選択内容）】の目的でバスを利用する頻度は、以下のうちのどのくらいですか。
あてはまるものを1つ選んでください。

第一選択

必須回答

とじる

週5日以上
週2～4日程度
週1日程度
1か月に1回程度
数か月に1回程度
1年に1回以下
わからない

Q15

バスの利用頻度が最も高いご家族が【【Q13の選択内容】】の目的でバスを利用する際の、バスの平均的な乗車時間はどのくらいですか。
あてはまるものを1つ選んでください。

第一選択

第二選択

なし

5分以内	
6～10分	
11～20分	
21～30分	
31～60分	
61分以上	
わからない	

Q16

バスの利用頻度が最も高いご家族が現在バス運賃として払っている額は1か月あたりどのくらいですか。
あてはまるものを1つ選んでください。
※東京都シルバーバスのみを利用し、バスを乗り降りする際にその場で運賃を支払っていない人は「東京都シルバーバスを利用しており、運賃は払っていない」を選んでください。それ以外の方は、バスを乗り降りする際に支払っている運賃の合計額をお答えください。

第一選択

第二選択

なし

1,000円以下	
1,001～2,000円	
2,001～3,000円	
3,001～4,000円	
4,001～5,000円	
5,001～10,000円	
10,001円以上	
東京都シルバーバスを利用しており、運賃は支払っていない	
わからない	

214

Q17

■ 次の設問に関する説明（必ずお読みください）
クルマの利用者が増えることによるバス利用客の減少や、それに伴う赤字の増加、またバス運転手の不足により、路線バスが廃止される事例が全国各地で生じており、最近では東京都内でもバスの廃止が生じています。
バスが廃止されると、今までバスを使っていた人は他の方法で移動せざるを得なくなります。
クルマを運転できる人であればクルマで移動できますが、クルマを持っていない人や、学生や高齢者など運転免許を持っていない人は、自転車や徒歩で移動するか、毎回の運賃を払ってタクシーを利用する、あるいは家族や近所の人に送迎をお願いする必要が生じます。
一方で、バスが廃止されずに維持されれば、こうした追加の負担が生じることはなく、将来にわたってバスを利用して移動することができます。
利用者が少ない赤字のバス路線に対しては、国や自治体が補助金を出していることが多く、その財源の一部はみなさんが無段階納めている税金で賄われています。
これから先の設問は、今あるバス路線を廃止から守るために、いくらまでなら今よりも税金を追加で納めてもよいと考えるか、という視点で回答してください。

■ 設問（上の説明を読んだから回答してください）
あなたが普段利用しているバス路線について、運転手不足や赤字の増加のため、バスが廃止され、【Q6の選択内容】で利用できるバスがなくなると仮定します。
これにより、あなたが【Q6の選択内容】、あるいはそれ以外の目的で外出する際、あなたご自身は毎回バスよりも高い費用を払ってタクシーを利用したり、家族や近所の人に送迎を頼まなければなりません。
この時、バスの廃止を防ぐために、1か月あたりいくらまで追加で負担してもよいと考えますか。
以下の選択肢のうち、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。
ただし、この追加負担は税金として支払うものとします。

第一選択

第二選択

としない

0円

200円

500円

1,000円

2,000円

3,000円

4,000円

5,000円
7,500円
10,000円
12,500円
15,000円
20,000円
25,000円
30,000円以上

215

付 録

Q18

■ 次の説明に関する説明（必ずお読みください）
クルマの利用者が減ることによるバス利用客の減少や、それに伴う赤字の増加、またバス運転手の不足により、路線バスが廃止される事例が全国各地で生じており、最近では東京都内でもバスの廃止が生じています。
バスが廃止されると、今までバスを使っていた人は他の方法で移動せざるを得なくなります。
クルマを運転できる人であればクルマで移動できますが、クルマを持っていない人や、学生や高齢者など運転免許を持っていない人は、自転車や徒歩で移動するか、毎回の高い運賃を払ってタクシーを利用する、あるいはあなたを含む家族や近所の人に送迎をお願いする必要があります。
これにより、家計の負担が増加したり、あなたが家族をクルマで送迎する手間が新たに生じることが考えられます。
また、将来あなたがクルマを運転できなくなった場合は、同様に家計の負担が増加したり、別の家族や近所の人に送迎をお願いしなければならなくなります。
一方で、バスが廃止されずに維持されれば、こうした追加の負担が生じることはなく、また将来あなたやあなたの家族がクルマを運転できなくなった時も、バスを利用して移動することができず。
利用者が少ない赤字のバス路線に対しては、国や自治体が補助金を出していることが多く、その財源の一部はみなさんが普段納めている税金で賄われています。
これから先の説明は、今あるバス路線を廃止から守るために、いくらまでなら今より右税金を追加納めてもよいと考えるか、という視点で回答してください。

■ 説明（上の説明を読んでから回答してください）
バスの利用頻度が最も高いに家族が普段利用しているバス路線について、運転手不足や赤字の増加のため、バスが廃止され、【Q13の選択内容】で利用できるバスがなくなると仮定します。
このとき、あなたの家族が【Q13の選択内容】、あるいはそれ以外の目的で外出する際、家族は毎回バスよりも高い費用を払ってタクシーを利用したり、あなたが家族を送迎する必要があります。
この時、バスの廃止を防ぐために、1か月あたりいくらまでなら追加で負担してもよいと考えますか。
以下の選択肢のうち、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。
ただし、この追加負担は税金として支払うものとします。

第一選択

第二選択

その他

500円
1,000円
2,000円
3,000円
4,000円
5,000円
7,500円
10,000円
12,500円
15,000円
20,000円
25,000円
30,000円以上

216

Q19

引き続きお伺いします。

バスの利用頻度が最も高いご家族が普段利用しているバス路線について、運転手不足や赤字の増加のため、バスが廃止され、[Q13の選択内容] で利用できるバスがなくなると仮定します。

このとき、**将来的にあなたがクルマを運転できなくなったら、あなたご自身は外出する際に毎回高い費用を払ってタクシーを利用したり、家族や近所の人に送迎をお願いしたりしなければなりません。**

この時、バスの廃止を防ぐために、1か月あたりいくらまでなら追加で負担してもよいと考えますか。

以下の選択肢のうち、**あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。**
ただし、この追加負担は税金として支払うものとします。

第一選択 必須回答

とじる

0円
200円
500円
1,000円
2,000円
3,000円
4,000円
5,000円
7,500円
10,000円
12,500円
15,000円
20,000円
25,000円
30,000円以上

Q20

■ 次の設問に関する説明（必ずお読みください）

クルマの利用者が増えることによるバス利用者の減少や、それに伴う赤字の増加、またバス運転手の不足により、路線バスが廃止される事例が全国各地で生じており、最近では東京都内でもバスの廃止が生じています。

バスが廃止されると、今はバスを使っていない人にとっても、将来あなたの家族がクルマを運転できなくなると同時に、自転車や徒歩で移動するか、毎回高い運賃を払ってタクシーを利用する、あるいはあなたを含む家族や近所の人に送迎をお願いする必要があるが生じます。

これにより、家計の負担が増加したり、あなたが家族をクルマで送迎する手帳が新たに生じることが考えられます。

また、将来あなたがクルマを運転できなくなった場合は、同様に家計の負担が増加したり、別の家族や近所の人に送迎をお願いしなければならなくなります。

一方で、バスが廃止されずに維持されれば、こうした追加の負担が生じることはなく、また将来あなたやあなたの家族がクルマを運転できなくなった時も、バスを利用して移動することができます。

利用者が少ない赤字のバス路線に対しては、国や自治体が増加補助金を出していることが多く、その財源の一部はみなさんが普段納めている税金で賄われています。

これから先の設問は、今あるバス路線を廃止から守るために、いくらまでなら今後も税金を追加で納めてもよいと考えるか、という視点で回答してください。

■ 設問（上の説明を読んでから回答してください）

あなたが現在住んでいる地域を走るバス路線について、運転手不足や赤字の増加のため、バスが廃止され、現在住んでいる地域から公共交通がなくなると仮定します。

これにより、**将来的にあなたがクルマを運転できなくなったら、あなたご自身は外出する際に毎回バスよりも高い費用を払ってタクシーを利用したり、家族や近所の人に送迎を頼んだりしなければなりません。**

この時、バスの廃止を防ぐために、1か月あたりいくらまでなら追加で負担してもよいと考えますか。

以下の選択肢のうち、**あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。**
ただし、この追加負担は税金として支払うものとします。

第一選択 必須回答

とじる

0円
200円
500円

1,000円
2,000円
3,000円
4,000円
5,000円
7,500円
10,000円
12,500円
15,000円
20,000円
25,000円
30,000円以上

アンケートは以上で終わります。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

資料5 住民アンケート調査結果(本編掲載分以外)

SQ3 あなたが現在主に住んでいる地域（自宅から徒歩10分以内の範囲）で、バス（※）の停留所はありますか。

※一般的な路線バスのほか、市町村が運営するコミュニティバスや、予約に応じて運行されるデマンド交通を含みます。高速バスや空港リムジンバス、企業や学校の送迎バスは含みません。

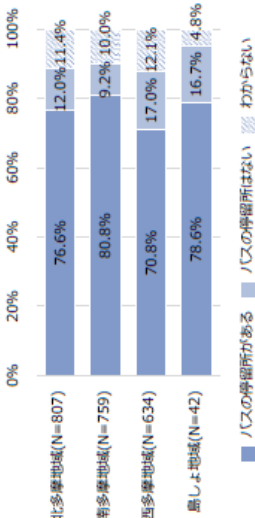


図6 バス停の有無【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問4 あなたは直近1年以内に、自宅から外出する際にバスを利用したことがありますか。

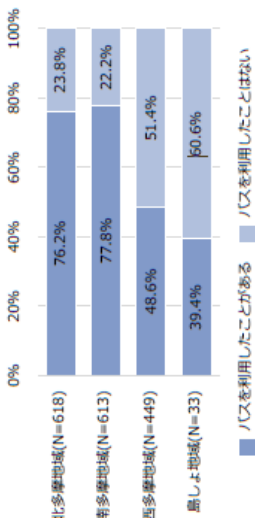


図7 バス利用の有無【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問5 あなたが現在、自宅からバス停に行くまでの所要時間はどのくらいですか。

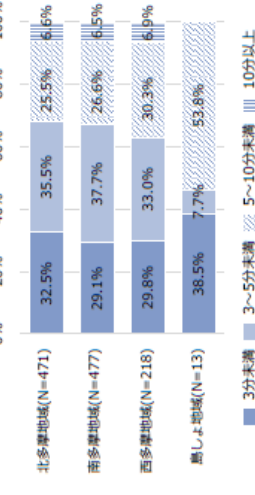


図8 バス停までの所要時間【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

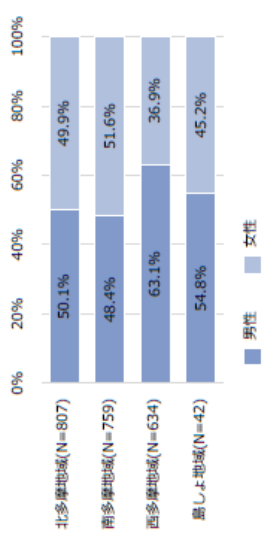


図3 性別【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

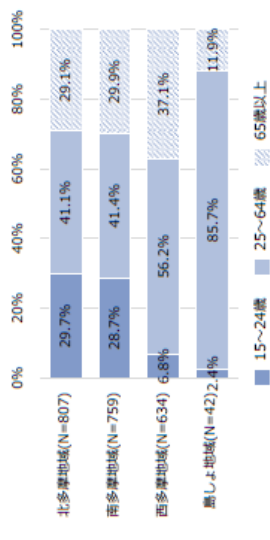


図4 年齢【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

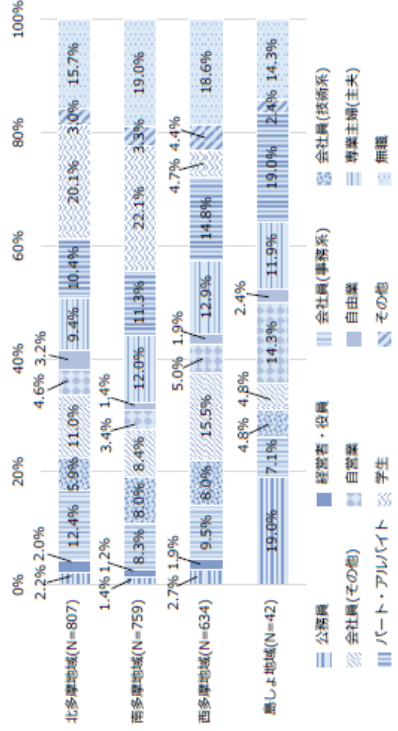


図5 職業【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問 6 あなたが現在、自宅から外出する際にバスを利用する目的は何ですか。

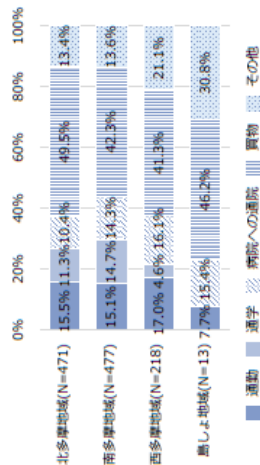


図 9 バスの利用目的【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問 7 あなたが問 6 で回答した利用目的でバスを利用する頻度は、以下のうちのどれくらいですか。

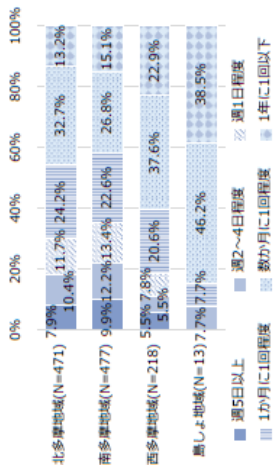


図 10 バスの利用頻度【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問 8 あなたが問 6 で回答した利用目的でバスを利用する際の、バスの平均的な乗車時間はどのくらいですか。

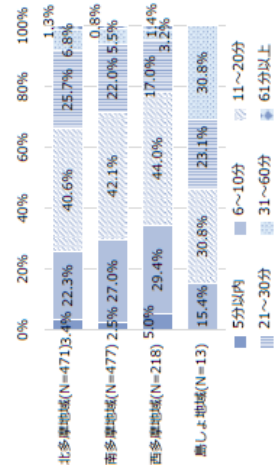


図 11 バスの乗車時間【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問 10 現在バスを利用する際に支払っている運賃（東京都シルバーバスの発行費用を含む）は、どなたが負担していますか。

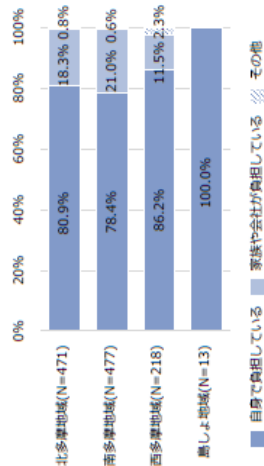


図 12 バス運賃の負担者【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問 11 あなたと同居している家族について、直近 1 年以内に自宅から外出する際にバスを利用したことがありますか。

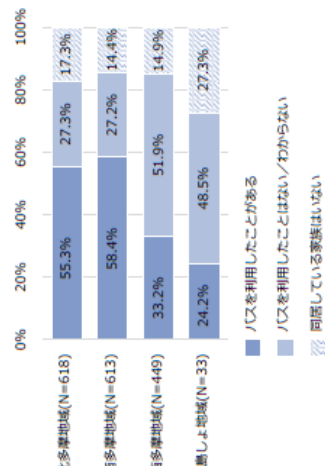


図 13 同居家族のバス利用の有無【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問12 同居している家族のうちバスを利用するご家族の属性について、あてはまるものをすべて選んでください。

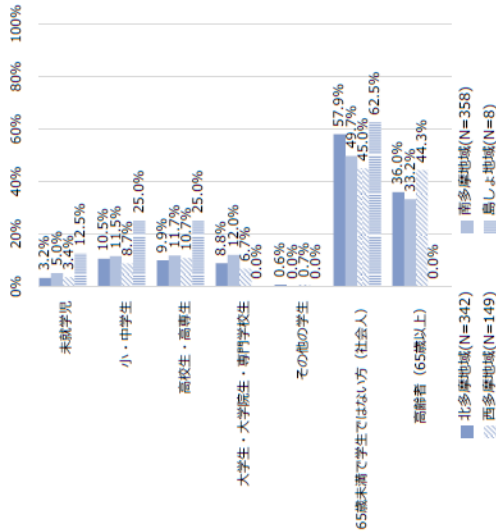


図 14 バスを利用する同居家族の属性【MA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問13 あなたの家族が現在、自宅から外出する際にバスを利用する目的は何ですか。

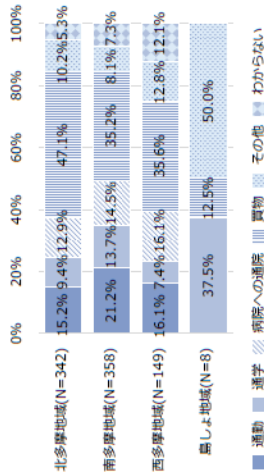


図 15 バスを利用する同居家族の利用目的【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問14 バスの利用頻度が最も高いご家族が問13で回答した目的でバスを利用する頻度は、以下のうちのどれくらいですか。

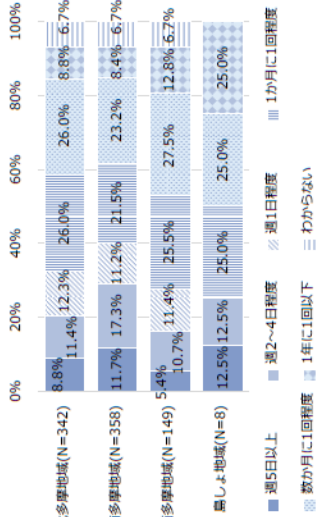


図 16 バスを利用する同居家族の利用頻度【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート

問15 バスの利用頻度が最も高いご家族が問13で回答した目的でバスを利用する際の、バスの平均的な乗車時間はどのくらいですか。

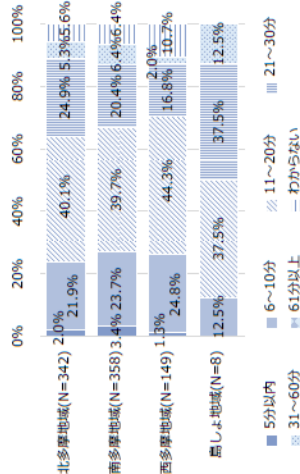


図 17 バスを利用する同居家族の乗車時間【SA】

出典：本調査研究内住民アンケート